

報道機関各位

下水生まれの肥料
「OH!DAY!®北九州」使用！

令和7年9月30日
北九州市上下水道局

小学生が苗植えした「じゅんかん育ちのさつまいも」収穫！ ～日本下水道協会理事長も参加！循環型社会を学ぶ特別授業と収穫体験～

- 北九州市上下水道局では、SDGsの推進に向け、下水道資源の肥料化に取り組んでおり、その一つとして、令和5年度から日明浄化センターで「じゅんかん育ちのさつまいも」を栽培しています。
- さつまいもの栽培には、北九州市の下水(汚泥)から誕生した肥料「OH!DAY!®北九州」を初めて使用しています。
- 収穫体験には、6月にも苗植えを行なった^{ひ あかり}「日明小学校(小倉北区)」の生徒が参加します。
- 今回は、下水道の学びを深めるため、特別講師として日本下水道協会^{おかひさ}の岡久理事長が校外学習で授業を行い、収穫体験にも加わります。

1 『校外学習』×『さつまいも収穫体験』 取材可能

- (1)日 時 令和7年10月9日(木) 9時50分～11時 ※少雨決行
(2)場 所 日明浄化センター(北九州市小倉北区西港町96-3)別紙
(3)参加生徒 日明小学校4年生 約80人
(4)スケジュール

時 間	内 容
9:50～	【校外学習】日明浄化センター内にて授業 テーマ:(仮)「下水道の仕組み・役割」と 「循環型社会」について 講 師:公益社団法人 日本下水道協会 理事長 岡久 宏史氏
10:30～ 11:00	【収穫体験】日明浄化センター内の畑にて



<令和7年6月 苗植えの様子>

(5)取材について

場内の安全管理のためご取材希望の方は、10月8日(水)12時までにご連絡ください。

「じゅんかん育ち」とは？

- ・下水再生水、下水汚泥からつくった肥料で育てた農作物(下水道発食材)の愛称。
- ・国土交通省では、下水道資源を農作物の栽培等に有効利用する取組を推進しており、安全で美味しい食材として全国各地で注目されています。

【問い合わせ先】

上下水道局 下水道計画課 (担当:松本(課長)、麻生(係長))
電話:093-582-2480

上下水道局のキャラクター
「スイッピー」



<講師紹介>

公益社団法人 日本下水道協会 岡久宏史(おかひさ ひろふみ) 理事長
下水道の専門家。

東京大学大学院修了後、長年にわたり国土交通省で
下水道行政に携わり、下水道事業課長や下水道部長を歴任。

現在は日本下水道協会の理事長、東北大学特任教授を務め、
未来のために下水道の大切さを積極的に発信。

**<日明浄化センター位置図> (北九州市小倉北区西港町96-3)**

※場内の安全管理のため、取材を希望する方は事前にご連絡ください。

